

令和7年8月22日

益田地域インフラ群再生戦略マネジメント
高津川流域橋梁点検業務委託に関するサウンディング型市場調査について
【 依 頼 】

益田市建設部土木課
参 事 藤井 雅彦

平素より益田市の行政につきまして、格別のご理解とご協力を受け賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、インフラメンテナンスにおいて、下記のとおり市場調査を実施いたしますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 調査の目的

益田市建設部土木課では、広域連携・多分野横断・複数でのインフラメンテナンスを予定しています。そこで、皆様のご意見を広く聞き、実際の業務委託に反映していきたいと考えており、市場調査を実施いたします。

2. 対象施設・施設の概要

益田市、津和野町、吉賀町の1市2町にて管理している市道・町道・農道・林道における橋梁を対象としています。業務内容としては、道路法及び各省庁の基準類に基づく法定点検になります。

3. サウンディング内容

別紙のとおり

4. スケジュール

調査期間 令和7年8月22日（金）～ 令和7年8月29日（金）

5. 問合せ先・提出先

提出先：益田市 建設部 土木課 維持管理室 長寿命化係 担当：長谷川・大畑
※紙媒体・メール（doboku@city.masuda.lg.jp）にてご提出をお願いします。

【 別 紙 】

前提条件として、令和7年度の益田市・津和野町・吉賀町の橋梁点検の1部において、一括発注を予定しております。そこで、受注者の皆様のご意見を反映できるように検討して参ります。つきましては、Q1～7の市場調査にご協力をお願いいたします。

Q1. JV（共同企業体）方式（乙型）について

最終形としては、施工業者も含めた事業組合等を検討しているのですが、令和7年度はスモールスタートとして、JV方式を予定しております。ご賛同いただけますでしょうか。該当する番号を○で囲ってください。

① はい （理由： ）

② いいえ （理由： ）

Q2. 企業体の数について

JV方式を採用した場合を仮定してご質問します。対象橋梁は70橋弱、工期は約6ヶ月を想定しておりますが、企業数は何社程度が妥当と考えますか。該当する番号を○で囲ってください。

① 2～3社

② 3～4社

③ 4～5社

④ それ以上

Q 3. 対象企業の範囲について

事業の継続性を考慮して、地元企業を中心とした企業を対象として想定しておりますが、ご賛同いただけますでしょうか。該当する番号を○で囲ってください。

① はい （理由： ）

② いいえ （理由： ）

「いいえ」を選択された場合、下記のア～イから一つをご選択ください。
ア～ウを1つ○で囲ってください。

ア 県内業者（市外業者）を含めるべき

イ 県外業者を含めるべき

ウ その他 （ ）

Q 4. 企業実績について

これまでの橋梁点検の実績を評価対象として想定しています。そこで、対象範囲についてご意見をお聞かせください。

橋梁点検は現在、3巡目点検の新たな段階入っています。また、国の橋梁定期点検要領が令和6年度に改正され、1巡目及び2巡目点検における橋梁点検の結果・知見を3巡目点検に適切に反映させることが重要と考えます。

① 実績期間について、ご希望に☑をお願いします。

☐ 直近5年間の実績

☐ 平成26年度～令和5年度の10年間の実績（1巡目及び2巡目点検期間）

☐ その他 （ ）

② 実績内容について

ア 地域について、ご希望に☑をお願いします。

- ☐ 益田市・津和野町・吉賀町での実績とする
- ☐ 益田市のみの実績とする
- ☐ その他(国・県を含める等)

イ 点検内容について、ご希望に☑をお願いします。

- ☐ 橋梁点検のみを対象とする
- ☐ 橋梁・トンネル点検のみを対象とする
- ☐ 橋梁・トンネル点検以外のインフラ全般を含めた点検業務を対象とする
- ☐ 橋梁における点検・補修設計を含めて対象とする
- ☐ その他 ()

ウ 対象施設について、ご希望に☑をお願いします。

- ☐ 市道・町道のみを実績として対象とする
- ☐ 市道・町道に加えて、農道・林道も実績の対象とする
- ☐ その他 ()

Q 5. 配置技術者の資格要件について、必要と思わる有資格者についてご意見をお願いします。

今後のインフラメンテナンスは、高度化・効率化が求められております。その上で、有能性を保持した技術者を求める観点にて、○を付けてください。

(複数回答可能)

○技術士（道路） (必須 ・ 任意 ・ 不要)

○技術士（鋼構造及びコンクリート） (必須 ・ 任意 ・ 不要)

○技術士（総合監理部門） (必須 ・ 任意 ・ 不要)

○RCCM（道路） (必須 ・ 任意 ・ 不要)

○RCCM（鋼構造及びコンクリート） (必須 ・ 任意 ・ 不要)

○コンクリート診断士 (必須 ・ 任意 ・ 不要)

○道路橋点検士 (必須 ・ 任意 ・ 不要)

○その他 ()

Q 6. 統括する企業の負担について

JV 方式は、乙型を想定しており、担当となった各橋梁について、点検を実施し各調書の作成を委託したいと考えております。そこで、各社が担当となった成果を集約し取りまとめる必要があります。その費用について、ご希望に☒をお願いします。

☐ 通常業務委託の経費の範囲で補える。

☐ 別途、費用が必要となる。

「別途、費用が必要となる。」を選択された場合の費用をお教えてください。
本業務は、70 橋を想定しております。JV の企業数は Q 2 の回答を考慮してください。

本業務における費用（1 業務あたり人数）

	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員
企業体計画	人	人	人	人
企業間調整	人	人	人	人
報告書 とりまとめ	人	人	人	人
その他	人	人	人	人

※上記以外に別途必要な費用（ ）

Q 7. 業務にける自由記入欄について

本調査を含めて、群マネの取組について、ご意見・ご質問があれば自由記入欄にご記入ください。

以上、ご協力ありがとうございました。最後にご回答されたご担当者の連絡先をご記入ください。

【ご連絡先】

企業名	
ご担当者	
連絡先（電話）	
（メール）	

※内容によっては、ご連絡をさせていただくことがあります。

※調査結果は、集計後、公表する予定です。